

## 第九回世界遺産写真展の実施報告

宝塚ユネスコ協会では、市民が現地で撮影した世界遺産を展示する写真展を毎年行っていますが、第九回目になる本年は、8月21日(土)～24日(火)の、3.5日間、宝塚市立西公民館セミナールームで開催されました。

作品の募集は5月中から1ヶ月半行いましたが、昨年からの新型コロナのため旅行ができなかったにもかかわらず、35カ国136点もの出展をいただくという、うれしい誤算がありました。長く旅行に行けないことで、懐かしい過去の思い出として出展された方も多かったようです。本年はヨーロッパ、中でもスペイン、イタリア、フランスの作品が多かったため、地図で大体の場所をお知らせすることにしました。



今回、広報活動としては、チラシを公民館等においていただく他、市の広報への掲載、FM宝塚でのお知らせ、神戸新聞への掲載を行い、のべ200名近くのご来場をいただくことができました。なお、その日の朝刊を見て、午後に来られた方もいました。

当日任意で90名の方からアンケートをいただきましたが、大変高評価で、また多くの貴重なコメントを頂戴しました。展示作品のうち二点を選んで記入していただくコメントでは、写真や場所のすばらしさや美しさへの賛辞が多く、それぞれ、出展者の方々にお知らせしました。また写真展全般については、コロナの感染対策で外出できない中、旅行気分になったり、以前に訪れたところを思い出されたりなど、それぞれ楽しんでいただいたというコメントが目につきましたが、世界遺産への興味を改めて持たれた方もいらっしゃいました。そして、写真募集や展示の準備に対する労いのお言葉や、展示方法についてのご意見もいただき、今後の企画のヒントに活用させていただきます。

宝塚ユネスコ協会の顧問として、特に写真展のご指導をいただいている大阪芸術大学の吉川教授にもお越しいただき、予想外の多くの出展に驚かれたとともに、ひとつひとつの作品が、思い出の深いものだったのでは、とのご感想をいただきました。そして、出席の理事を交えての記念撮影を行いました。



2021年9月宝塚ユネスコ協会